



### 第3回自然体験活動1日講座を開催！



平成26年11月11日（火）に、「自然物で創る」をテーマに第3回自然体験活動1日講座を開催したところ、高等学校の10年経験者研修7名を含む35名の先生方に参加いただきました。

午前中は、「竹伐採」からの「竹スプーンづくり」を行いました。参加者の先生方からは、「実際に竹を切るところから始められ、自然から物を作る実感がありました」「切りとった竹をそのまま運ぶ

などの作業も協調性を感じることができて、良かったです」といった感想がありました。どうしても一部の先生だけによる伐採体験となりがちですが、倒した竹を林からみんなで引っ張り上げたり、全員が剪定ばさみやのこぎりをもち、細い枝葉を切断したりするなどの作業を分担して行いました。自然学校では、竹伐採からの「Myはし」づくりが増えてきましたが、竹の性質を生かすためにも、また、野外炊事でカレーを作ることが多いので、実用的な「スプーン」づくりに挑戦してはどうでしょうか。制作の難易度は高くなりますが、竹の節、



厚さ、太さ等の形状により、「はし」よりも様々な形をした**世界に一つしかないオリジナルの味わい深い「スプーン」**が完成します。小刀で削り、サンドペーパーで磨きながら、作ることの喜びと大変さ、また創意工夫の楽しさ等を体感できるはずです。



そして、午後からは南但馬自然学校内の紅葉した木の葉やどんぐり等の自然物を用いた「自然物クラフト」を行いました。午前に伐採した竹を使って、スプーン以外の竹クラフトに挑戦したりするなど、素晴らしいアイデアのもと、夢中になって取り組み創意工夫を凝らした作品を完成されました。また、他の先生方の作品を鑑賞することで、こんなものが出来るんだという気持ちが高まったと思います。

受講者の感想の中には、「子どもの時に戻ったように楽しめました。でも、今の子どもたちが大人になった時にこの経験をして『子どもの時に戻りたい』と思えるようにも、小さいうちから経験してほしいなとすごく感じました」と記載されていました。私の子どもの頃は、小刀を学校で使っていたし、家で、特に遊びを通して工具を使い、少々のがや失敗を繰り返しながら体で覚えていった気がします。「たこ」「竹馬」「ぶちごま」等、その頃を思い出すだけでも、ワクワクしてきます。まさに、体験を通して、知識となり技能となっていたのです。今の図画工作の授業では、各種のコンクール出品のため絵画やポスターの時間が多く、工作の時間が余り確保されていません。ましてや、家庭で小刀を使うことなど無いと言っていいかもしれません。だからこそ、学校教育の中で、授業が無理ならせめて野外活動、自然学校で小刀等を使う活動を取り入れて欲しいものです。そして、子どもたちの怪我を未然に防ぐ手立てとしてのリスクマネジメントについても、常に考えていただきたい



と思います。今回研修したことを、学校教育の中に生かし、子どもたちに自然とふれ、自然物から何か創る楽しさを伝えてくださることを期待したいものです。

#### ☆参加者の感想より（一部抜粋）☆

- ・身近なものでも実際に触れることで、発見できることがあり、とても新鮮な気持ちで研修に取り組むことができました。実習中も新たな発見を体験しつつ、集中して取り組むことができ、自然の素晴らしさを学びました。
- ・竹伐採だけでなく、自然物を使ったクラフト制作では、素材を生かしながらつくることができて、とても楽しかったです。普段使わない工具や用具の使用の仕方も教えていただき、安全に使うことができました。
- ・自然の中で、落ち葉や木の枝に触れていると気持ちが落ち着きました。無心で作品を作っていると、日々のことも忘れいつの間にか熱中していました。自分で拾ったもので作った作品には愛着がわきました。

### 微笑ましい、素敵な交流がありました！

同一週における利用校同士の交流が、なかなか難しいと言われてい  
ます。他の施設では、朝の集いを一緒に行い、利用校（団体）が出し物を  
したり、その日の活動内容を説明したりする場合があります。本校では、  
初日に交流会をすることがありますが、ほんの一部です。9月中旬利用  
の赤穂市立塩屋小学校は、運動会前ということから、朝食前に芝生広場  
でソーラン練習をしていました。それらを見ていた赤穂市立御崎小学  
校の子どもたちは、少し照れくさそうに真似て踊ったり、終わったら拍手  
をしたりしていました。また、上郡町立山野里小学校の子どもたちが、  
竹田城跡登山の時、大屋根広場にいた御崎小学校の子どもたちに向か  
って、「やっほー」と声をかけ、声が届くかどうか確かめ合っていました。  
御崎小学校の子どもたちは、耳をそばたて、必死に聴こうとしていま  
した。



それぞれがちょっとしたことですが、見ていて心が和む光景でした。

### 子どもたちによる奉仕作業！よく頑張りました。



平成26年9月17日付け、指導課だ  
よりNO, 22号で「求む！小学生による  
奉仕作業。作業は簡単！」で依頼した  
生活棟周辺の低木伐採作業ですが、明  
石市立清水小学校と赤穂市立赤穂小  
学校の子どもたちが、自然学校最終  
日の大掃除の時間に取り組んでくれ  
ました。子ども



たちは、普段したことがない作業の興味もあって、一生懸命に働いてくれました。他にも、協力して  
くださる学校もありましたが、本校職員の指導体制の問題もあり、お断りしました。申し訳ありませ  
んでした。野外キッチンの食卓下の小石の散乱の整理、秋のこの時期であれば枯れ葉集め等、お願い  
したいことが数多くあります。

来年度以降も、引き続きお願いしたいと考えていますので、ご協力の程、よろしくお願  
いします。

#### 編集後記

自然物クラフト、利用校同士の交流、子どもたちの奉仕作業、話題たっぷりの「指導課だより」を  
作成しました。掲載して欲しい内容や情報等をお待ちしています。

(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)